

反対

日本共産党

**社会的弱者へのセーフティネットが
つくられていない**

政府の施策によって貧困と格差が広がる中で、今年の予算は市民の生活を守ることに全力を挙げるべき。しかし、社会的弱者に対するセーフティネットがとくられていない。低所得者層が増税、高所得者層が軽減され、後期高齢者医療制度についても冷たい答弁。さらに、財源不足を理由に補助金と委託料を一律一〇%カットしている一方で、委託料などの査定のがさが目立つ。救急医療の充実や子ども医療費無料化の拡大など、前に進める手だてが取られていない。

賛成

自民クラブ

効率的な予算編成がされている

本予算は、総合振興計画における基本構想及び前期基本計画の初年度であり、「自信と誇り」そして愛着のあるまち「ふじみ野」の達成に向けた第一歩である。歳入の適正な確保を目的とした税のコンビニ収納実施に向けたシステム作成予算、また、厳しい財政状況の中、合併特例債を活用した小・中学校耐震補強工事の実施、東台小学校建設など、効率的な予算編成がされている。事業の執行に当たっては、費用対効果を羅針盤にして効率的で効果的な執行を要望する。

平成20年度 一般会計予算

討 論

賛成

公明党

**質の高いサービス展開と成果重視の
行革推進に取り組んでいる**

本年度を、昨年九月に策定された将来像を掲げた総合振興計画の初年度として、現在の厳しい財政状況の中、市民ニーズに合った質の高いサービスの展開と成果を重視した行政改革の推進という、相対する課題に取り組んでいる。平成二十年度当初予算は、二九三億六八八万円で、前年度予算より二億八九九万円増額になっている。今後市税は、一層の課税適正化や収納強化と新たな財源確保を考える必要がある。

賛成

民主党・市民クラブ

総合振興計画が反映されている予算だ

当初予算は、総合振興計画の初年度に当たり、当然どう反映されているかが重要になってくる。特徴的なものとして、入札の事務適正化の推進、入札の透明化、競争性、公平性を図るため、県との共同による電子入札システムの開発は評価できる。本庁舎・支所間を定期的につながる連絡バスの運行、洪水ハザードマップ作成業務委託等も重要である。三か年実施計画では、協働のまちづくりを推進するため「(仮称)まちづくり基本条例」が挙げられている。着実な計画の執行を要望する。